

輝宝福祉会「歩み」Vol.17石巻ひがしこども園

令和6年度春夏秋冬

令和6年度も子どもたちとたくさんの行事と活動をしました。春は、洞源院梅花講さんに誘われてJ R 渡波駅前の美化活動や石巻ロータリークラブさんに誘われて、いつも遊ばせてもらっている硯上山（けんじょうさん）万石浦県立自然公園牧山の植樹に参加させて、奉仕作業の大切さを学ばせていただきました。洞源院さんでは満開の桜を見ながらお花見を楽しませてもらいました。

春



暑くなると近くの長浜（以前は石巻市指定海水浴場）に行き、散策しながら海の感触を楽しんでいます。また、海水浴には石巻市牡鹿の十八成（くぐなり）浜へ出かけ、石巻市真野川の上流や女川町清水の沢でも水遊びを思い切り楽しみました。保護者会主催の夏祭りでは保護者が出店を出してくれ、盆踊りを踊り、夏を満喫しました。

夏



秋にはサツマイモの収穫や焼き芋会、保護者参加型の運動会、東京から人形劇団ブークさんが来てくれました。

冬にはスケート体験、乗馬、動物園見学、凧作り、凧あげ、節分には鬼のお面作り、そして卒園式、1年間盛りだくさんの思い出ができました。体、気持ち、考える力、自分でつかみ取り成長していきました。

秋



冬



輝宝福社会「歩み」 Vol.17

2025年春

0歳	かに組	2名
1歳	かめ組	4名
2歳	らっこ組	11名
3歳	ぺんぎん組	6名
4歳	いるか組	9名
5歳	くじら組	7名
計		39名

ピーク時は90人を超えるお子さんをお預かりしましたが、石巻市に待機児童がないことから年々園児数が減っており、保育園運営が厳しくなってきました。幼稚園のお子さんとは、保育園のお子さんをお預かりすることも園にする選択を取らざるを得なくなり、今年度から幼保連携型認定こども園へ移行するため宮城県へ申請を出し、認可に至りました。こども園と言っても種類があり、幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地域裁量型があり、幼保連携型は資格要件が厳しく保育士と幼稚園教諭両方を必要とします。今は、宮城県の条例にて令和11年までどちらか資格を持っていれば要件を満たすこととなりますが、期限までに資格をそろえる必要があります。こども園は必要職員数も多く、その分行政からの委託費が多いというメリットもあります。職員数が多い分、大切なお子さんをお預かりし、より丁寧に教育や保育を提供できることになりました。



保育参観

コロナ感染症前に講師の先生を呼んで保育参観を行い、保護者対象の講演会（子育て学習会）を行っていましたが5年間休止していました。今年は、保護者会と話し合い6年振りに開催しようという事になり、音楽教育の会に所属されております元小学校教諭である日食正昭先生をお呼びしました。歌を歌い、楽しい親子リズムを行いました。子どもたちもお父さん、お母さんもみんな笑顔で体を動かす喜びを感じることができました。



講演会では、子どもを中心とした生活を心掛ける、子どもと親の関わり方1つで子どもの育ちが変わる、大人の何気ない行動が子どもに影響する等々、普段の生活の中で大人が少しでも子どもを気遣ってあげることの大切さをお話いただきました。

社会福祉法人 輝宝福社会 石巻ひがしこども園

令和7年6月17日発行

〒986-2123 宮城県石巻市伊勢町198番2

TEL:0225-90-4664 Fax:0225-90-4663

《郵便振替》 加入者名:社会福祉法人 輝宝福社会 口座記号番号:02290-8-112620

ホームページ 検索 → 『石巻ひがしこども園』

E-mail:higashi@kihofukushikai.com

ひがし保育園「七夕」



七夕の笹が保育園に届くと各クラスこぞって飾りつけを作り始めます。年齢が上がるごとにできることが増えるので職員たちも子どもたちと楽しみながら作成します。短冊はお父さん、お母さんに書いてもらい、朝、登園した時に親子で飾ってもらいました。

たから保育園「七夕」



この昨年度の七夕会の出し物は、職員会議で人間劇にて織姫と彦星の物語を演じました。何回か練習を行い物語の衣装を持ち寄り、一部作成して会本番、子どもたちはセリフの1つ1つ聴きながら劇に見入っていました。子どもたちと一緒に飾りを作り、願い事が叶うようみんなでお祈りをしました。

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字沖13番地

輝宝福祉会事務局

TEL: 0225-90-4990 Fax: 0225-90-4991

E-mail: takara@kihofukushikai.com

《郵便振替》 加入者名: 社会福祉法人 輝宝福祉会 口座記号番号: 02290-8-112620